



令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業東北ブロック表彰式を開催

令和6年11月12日（火）に東北農政局（仙台市）において、令和6年度豊かなむらづくり全国表彰事業東北ブロック表彰式を開催し、農林漁業の振興を核として、生活、文化等を含む地域活動を展開する総合的なむらづくりの優良な団体に農林水産大臣賞、東北農政局長賞の賞状を授与しました。



菅家農政局長の挨拶



受賞団体との記念撮影



豊かなむらづくり審査会長の講評

農林水産大臣賞



中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会
（青森県中泊町）



向黒沢集落
（秋田県北秋田市）



清流と山菜の里ほその村
（山形県尾花沢市）

東北農政局長賞



農事組合法人一方井地区営農組合
（岩手県岩手町）



有限会社伊豆沼農産
（宮城県登米市）



おおたま村づくり株式会社
（福島県大玉村）

◇ 令和6年度「豊かなむらづくり全国表彰事業」東北ブロック受賞団体の情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。
(<http://www.maff.go.jp/tohoku/nouson/murazukuri/index.html>)

上記紙面の問合せ先：東北農政局 農村振興部 農村計画課 022-261-6734





高病原性鳥インフルエンザに注意！ 渡り鳥シーズンへの備え

本年10月、今シーズン国内1例目の高病原性鳥インフルエンザが発生しました。また、東北管内においても11月に宮城県で1事例発生が確認されています(11/14現在)。

農場での本病発生リスクが高い状況です。防疫対策を徹底し、発生を予防しましょう！



野生動物対策 防鳥ネットや壁に穴が開いていませんか？

- ・野生動物が近寄らないよう、農場内を整理・整頓しましょう。
- ・一見隙間がなさそうな家きん舎の侵入口や、普段目が届きにくい場所(鶏舎天井裏など)を再点検し、必要に応じて補修しましょう。



入出時対策 消毒を確実に実施していますか？

- ・家きん舎の周辺・出入口の消毒等を適切に実施しましょう。
- ・動線が交差していないか確認しましょう。
- ・全ての従業員・外来事業者で衛生対策を徹底しましょう。

入気口対策 フィルターの設置を検討しましょう！

- ・粉じん、羽毛等の取込み対策に野鳥除けを設置しましょう。
- ・一歩踏み込んだ入気口対策(フィルター、細霧装置の設置)の実施の検討をお願いします。

家きん舎の周囲には、ウイルスの侵入経路が多く存在しています。人・車両、野生動物を介したウイルスの侵入防止のため、**今一度、点検・確認をお願いします！**



鳥インフルエンザに関する情報はコチラ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>



【問合せ先】東北農政局 消費・安全部畜水産安全管理課 022-263-1111 (内線4557)

冬の農閑期に！

農作業安全研修に参加しましょう！

【強化期間】

令和6年12月1日～令和7年2月28日

農林水産省では**農作業安全研修実施強化期間**を設定しており、県に対して農業機械事故の安全知識の向上をテーマとした研修の実施を推進しています。積極的に参加して知識を身につけましょう！

研修内容

基礎研修

- ・身近に発生した事故事例の説明
- ・営農条件に応じた具体的な対策の提示等

実践研修

- ・農業機械を用いた実技演習
- ・農業者間でヒヤリハット体験を共有する対話型研修等

※研修内容の詳細についてはお住いの県にお問い合わせください。

【問合せ先】東北農政局 生産部 環境・技術課 022-263-1111 (内線4574、4541)



「豚熱」・「アフリカ豚熱」の侵入防止！

豚熱は、東北では令和2年に山形県の農場で発生以降、宮城県と岩手県で発生しています。なお、野生イノシシの豚熱感染は、東北全県で確認されています。

近隣国では、豚熱及びアフリカ豚熱の発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いていますので衛生管理を徹底しましょう。

豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>



アフリカ豚熱に関する情報はコチラ

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/asf.html>



野生イノシシの豚熱検査情報に関する情報はコチラ

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/wildboar_map.html



目的の二次元コードがうまく読み込めない場合は、指などで不要な二次元コードを隠した状態で読み込んでください。

東北農政局

公式 SNS はじめました

X (旧Twitter)

東北農政局のプレスリリース情報や、各種施策情報など、東北農政局の動きをさまざまな角度からお届けします。



@MAFF_TOHOKU
東北農政局 公式 X
アカウントはこちら

Instagram

農林漁業者、食品事業者等にとって役立つ情報のほか、東北の旬の農林水産物、農林水産業・食品産業に関するイベント情報等東北の魅力を発信しています。



@maff_tohoku
東北農政局 公式 Instagram
アカウントはこちら

南部町の秋を彩る伝統食材「食用菊」 - 青森県・南部町 - (2024年10月21日掲載)

青森県では菊の花びらを野菜の一種として食べる文化があり、スーパーや直売所では、菊の花が野菜と一緒に並んで販売されています。また、県内では家庭菜園でも食用菊を植えている様子が多く見られます。

青森県の南東部に位置する南部町は、果樹栽培を中心とした農業と県内有数の食用菊の生産地となっています。「阿房宮(あぼうきゅう)」や「十五夜」など、様々な品種が昔から栽培され、秋を迎えると町のあちこちで開花の様子が見られます。



写真：収穫最盛期の食用菊「十五夜」。同社のほ場では「十五夜・八戸ぎく1号・阿房宮」3種類の菊を栽培しています。

地域おこし協力隊員が短角牛生産振興の一翼を担う

- 岩手県・久慈市 - (2024年11月5日掲載)



写真：広い放牧地で過ごす山形村短角牛の親子

久慈市山形町では、日本短角種である「山形村短角牛」の生産が行われています。「山形村短角牛」は旧南部藩時代の「南部牛」をルーツとし、地域で古くから飼育されてきました。しかし、近年は生産者の高齢化や牛肉需要の減少等により、生産頭数を維持することが難しくなっています。久慈市ではこの状況打開の手立てとして、短角牛に関心のある地域おこし協力隊員の力を借りて活性化を図っています。

耕畜連携による地産地消の取組を目指して(子実用とうもろこしの生産)

- 宮城県・名取市 - (2024年11月20日掲載)

市内の農事組合法人U.M.A.S.I.(ウマシ)は水稲(50ヘクタール)、大豆(80ヘクタール)、子実用とうもろこし(10ヘクタール)、野菜(いちご、じゃがいも、さつまいも、たまねぎ等)及び果樹(ぶどう)を多角的に生産しており、大豆は近隣にある東北最大級の古墳「雷神山古墳」を商品名に冠した「雷神山納豆」としても販売し好評を得ています。



写真：収穫前後の子実用とうもろこしと農機具メーカーによる収穫実演



地域からの便り

各県拠点では「農山漁村の季節の風物詩」、「農産物直売所、農漁家民宿等の取組」、「村おこしイベント」、「農山漁村の行事、お祭り」、「郷土料理」など東北各地域の取組や様子などを東北農政局HPで紹介しています。各記事の詳細は二次元コードからご覧ください。

◆ 「食・農ひとくち情報」の詳しい情報は、東北農政局ホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/tohoku/hitokuti/index.html>

◆ 「食・農ひとくち情報」の問合せ先：東北農政局企画調整室支援チーム

022-263-1111 (内線4402、4076)

